



今月の一枚

雪の年末（12月27日、順慶寺山門から 岡川経康氏撮影）

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2022年(令和4年)

## 1月号

VOL.339

### ◆◆ 雪のふる日 ◆◆

このところ温暖化といわれているが、この地方でも伊吹おろしに運ばれて、冬になると一度は雪景色となる。雪がふると、本堂の屋根や木々、宗祖や蓮師の銅像もモノトーンの世界に染まり、幻想的な景色となる。

### ◇ 感情でなく行ないを見る大切さ ◇

新年、あけましておめでとうございます。

令和に入って、新型コロナウイルスによって人と人が集まることが難しくなり、コミュニケーションがうまくとれなくなっています。

令和4年、何としてもコロナを克服し、再び人と人が繋がることを願うばかりです。

新年にあたり最初に選んだ釈尊の言葉は、『ダンマパダ』からの出典です。

「他人の過ち

他人のしたこと、しなかったことを気にするな。

ただ自分のしたこと

しなかったことだけを見よ」（第五十偈）

この言葉は、ある裕福な女性が、息子のようを迎えていた異教徒の行者をよそに、釈尊を自宅に招待して、説法を頂いたときの話です。行者は、釈尊が説法するあいだ、隣部屋に身を潜めていましたが、嫉妬で耐えきれなくなり、突然釈尊と女性の前に現れ、二人を罵っていききました。あまりのことに女性は、心が乱れ狼狽うろたえてしまいました。このとき、



### 今月の釈尊の言葉

人のことではなく  
自らの為したこと  
為さなかつたことを  
反省すべきである

◆ダンマパダ(法句経)  
第五十偈より  
釈尊が祇園精舎で、嫉妬して邪魔をする行者について説かれた一節です。



釈尊は、「自分のしたこと、しなかったことを観るべきです」と諭しました。

私たちは、人から思いがけない言葉がかけられたとき、思わず黙ってしまい、どうしてなのか理由を求め、内にこもり心の奥底を見つめます。しかし、平生より煩惱をふりまくことだけに始終していた心には、奥底に沈めば沈んだだけ、憎しみや悲しみが現れ、憎悪が増し、さらに深みにはまります。

そんな我が身に、釈尊は、自分のしたこと、しなかったことをはつきりさせて、生きて行きなさいと励まして下さいます。

### 若院のテーマカット NO.33



◇懺悔は新たな命の源◇

六時礼讃という儀式をご存知でしょうか。一日を日没・初夜・中夜・後夜・晨朝・日中の六時にわけ、善導大師の説かれた礼讃偈を誦誦し、懺悔し、念仏礼拝する儀式です。

礼讃偈の声明は、グレゴリオ聖歌に似た、美しい旋律をもった天台声明を基にした声明で、傷ついた心に奥底から癒してくれるかのような優しい調べです。ありがたいことに、現在、ユーチューブなどに声明が収録されており、容易に試聴が可能です。かつて法然上人の弟子・安楽房導西が、美しい六時礼讃の声明で人気を得て、後鳥羽上皇の女房たちが出家するという出来事がおきました。そのため、安楽房ほか数人が斬首され、法然上人、親鸞聖人が流罪となる、承元

の法難に至りました。六時礼讃は、それほど人の心を打つ声明なのです。現在、東本願寺ではあまり取りもたれることがないお勤めですが、今でも、浄土宗、時宗、西本願寺などでは大切にされている儀式です。

さて、礼讃偈を収録する『往生礼讃』を書かれた善導大師は、偈文を説かれる前に、私たちが日常している行為、①名利を重んずること、②我を強めること、③自分に甘いことを指摘して厳しく戒めています。これらを常に持ち続けていると、いくら尊い行をしても、次の瞬間には愚痴に変わってしまいます。そのため、善導大師は、御本尊様の前で懺悔し、身を改めていくことを勧められます。御本尊前で懺悔することは、後退することではなく、新たに生きていく力となることをひしひしと感じます。

①【天台声明】

日本の声明の派。天台宗の三代目の座主であった円仁を始祖とする。十年に及ぶ中国留学ののち帰国した円仁は、唐代の仏教儀式を比叡山延暦寺に伝え、その後十二世紀初頭、良忍が大原に隠棲して以来、この地の来迎院が天台声明の根本道場となり、大原流と呼ばれるようになった。(ブリタニカ大辞典より)

②【安楽房】

法然上人の門弟。法然上人の『選択本願念仏集』の口述筆記の大役を任せられたが、それを驕ったために解任された。声明に優れ、同門の住蓮とともに六時礼讃をよく勤めた。

③【承元の法難】

法然上人は九条兼実のすすめで『選択本願念仏集』を著したが、比叡山や興福寺など旧仏教の側からの非難や迫害は激しく、承元元年(二〇七)住蓮・安楽の事件をきっかけに法然上人、親鸞聖人らは流罪となった。



「とおきはちかき道理、ちかきは遠き道理なり。」(御一代記聞書、二九条)  
これは仏法に近いものほど仏法をおろそかにしている、と連如上人が戒められた言葉です。仏法というものを当たり前前に

あるモノとして、何かと理由をつけて仏法を聞き流している自らが透けてくるような一文です。仏法から遠ざかれば有り難く思えるのかという単純な問題でなく、自身の仏法に対する姿勢が問われてくるお言葉です。

《第二十二回 灯台下暗し》

この度、掲示方法をほんの少し変えてみるようになりました。毎月、お釈迦様のお言葉をご紹介していくのはこれまで通りです。それぞれに忙しい日常の中で、少しでも多くの方のお目にとまるように、住職が書いた文字を大きく印刷することにしました。お釈迦様のお言葉を、少しでも心に留めていただくことが願いです。

念仏を欲ぶ人  
妙好人の世界  
[第112回]  
《味おうてくれ》  
ものだねきちべえ  
物種 吉兵衛  
(20)

《よきようになさるワヤ》

堺の妙好人・吉兵衛。聞きが強さは有名でしたが、さらに、顔色を伺って尻込みをする同行にも厳しい面がありました。そんなエピソードを一つ。あるとき、吉兵衛の留守中に、他所の同行から報恩講の案内がありました。そのとき、村の同行は他所の報恩講はなじみがないから勝手が悪いと言って、一人も詣らず帰っていました。その後、吉兵衛が帰ってきて、そ

の話を知って、「皆は何と知っている。コレ、この世界でもお上から差し紙が着いたときにはジツとしておられはせぬやないか。まして、御開山様の御影向(報恩講のこと)という重い差し紙いだきながら棄てておくとは何のことや。爺さん(吉兵衛のこと)は留守であるよってと申してお詫びかたがた、たとい一人でも詣ってくれるものはなかったか？」と申して、声を震わして、歯ぎしりをかんで、きつくしかりつけたといいます。かつて、吉兵衛は、路上で報恩講のご招待をもらったときには、その場に坐って頂き直し、ありがたく頂戴したといっています。そんな吉兵衛には、顔色を伺って報恩講に詣らない同行のことが許せなかったのです。

お寺とともに

掲示板



山門にある掲示板。長年、前任職が担当しておりました。月末になると、暑い時も寒い時も白墨を片手に筆を走らせていた姿が思い出されます。当初、掲示板の意味を知らせようと寺報の発刊を提言した住職でしたが、やがて前任職の跡を受け継いで掲示板を書き換えるようになり、法務や法要の合間ではなかなか大変なようでいつも苦戦しています。そんな姿を間近で見て、前任職のありがたさが今更ながら感じます。この度、掲示方法をほんの少し変えてみるようになりました。毎月、お釈迦様のお言葉をご紹介していくのはこれまで通りです。それぞれに忙しい日常の中で、少しでも多くの方のお目にとまるように、住職が書いた文字を大きく印刷することにしました。お釈迦様のお言葉を、少しでも心に留めていただくことが願いです。



1月 除夜の鐘



2月 ハスの手入れ



4月 蓮師会花立て



5月 老院一周忌法要



撮影はセミアプロカメラマン護寺会長岡川経康氏一部住職



3月 竹林整備



7月 白蓮華初開花



8月 東大教授牧野篤先生と懇談会



11月 報恩講で市野先生の法話

12月度護寺会物故者

釋公泰

11月24日寂 杉浦泰次郎(92)  
名古屋市 杉浦規公様の父

粹寛院釋俊徳

12月25日寂 加藤俊之(89)  
高畑組 加藤峰雄様の父

精好院釋尼明有

12月16日寂 塚本スキ子(92)  
今川東組 塚本勝正様の母

3名の順慶寺護寺会員の  
方が生前の役割を終えら  
れ、浄土におかえりにな  
られました。合掌

編集部短信

◆掲示の言葉リニューアル—令和四年  
一月より、順慶寺前の掲示板に入る掲  
示の言葉が、住職自筆によるポスター  
式に変更。これに合わせて、墓地前  
本堂内、寺報の一面も住職自筆のもの  
に変更。

◆元御遠忌会計・加藤俊之氏逝去—  
さる十二月二十五日、順慶寺蓮如上人  
五百回御遠忌法要にて会計を務められ  
た、加藤俊之氏が逝去。長らく護寺  
役員として活躍された。故老院とはよ  
き囲碁相手だった。

◆十五日講解散—江戸期より続いて  
いた十五日講が、コロナで二年間休止し  
ていたことから、再開のメドが立たず  
十二月十九日に解散した。近年、近隣  
各地で本山の講が解散しており、十五  
日講もそのおろしを受けた形。なお、  
十五日講の残金は、同日順慶寺に寄附  
された。

◆本山財務改革を目指し内局案—昨  
今、宗門状況や財務状況が厳しくなっ

編集雑記

かつて四つ残っていた順慶寺担当の  
講がすべてなくなっていました。老院が「真宗のいのち」とまで言っ  
ていた講が老院存命中に次々となくな  
り、役員も努力も及ばず、老院の三  
回忌を前に最後の一つが終わりました。  
いま御内仏で日々老院に、「新たな歩  
みをいたします」と誓っています(住)。  
.....

このごろ急に寒くなり、お取越に向  
かう車のハンドルも氷のような冷たさ。  
風邪だけはひかないようにと家族から  
くぎを刺されました。せめて規則正し  
い生活を送ろうと思っています(若)。



# 1月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番	16日	日		
1	土	修正会(大晦日23:45~、順慶寺)		17	月		
2	日			18	火		
3	月			19	水		
4	火	コロナ対策により、諸活動は自粛中 ※令和4年4月より感染状況を見ながら順次正常化する予定		20	木		木-3
5	水			21	金		
6	木			22	土		
7	金			23	日		
8	土			24	月		
9	日			25	火		
10	月	今川西組お取越	成人の日	26	水		
11	火	山ノ端組お取越		27	木		木-4
12	水	教化検討委員会(14:00、順慶寺本堂)		28	金	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺にて内勤め)	
13	木	今川東組お取越	木-2	29	土		
14	金			30	日		
15	土			31	月	下高根・荒井地区お取越	



岡川経康氏撮影

## 1月行事内容 詳細

### 修正会(年越し勤行)

12月31日から元旦

大晦日23時45分 順慶寺

コロナ禍の中、本年も大晦日から元旦にかけて、修正会(年越し勤行)を左記の日程の通り実施いたします。

### 《修正会日程》 12月31日~元旦

23時30分

山門開扉

23時45分

本堂お勤め始め  
鐘楼除夜の鐘始め

24時15分

住職年頭挨拶  
責役・総代長挨拶

24時30分 順次焼香(三十分間)

※当日、参詣者にはマスクの着用、アルコール消毒のお願いをします。本堂内では、座席の間隔を取り(座席は四十五席)、書院にも座席(ライブ中継、十五席)を準備します。また、お屠蘇やお汁粉の接待は本年も自粛いたしますが、お土産と温かいお汁粉の缶ジュースを準備いたします。  
※除夜の鐘は、打鐘を願う人には、必須で手指のアルコール消毒をしていただく予定です。

### 教化検討委員会(第九回)

1月12日(水)

午後2時 順慶寺本堂

一年間教化のあり方を議論してきた検討委員会。今後、令和四年四月に行われる教化委員会への答申提出に向けてまとめに入ります。

## おしらせ

●令和四年より法事等は通常日程  
コロナの影響により、一昨年より、読経時間の短縮、お斎の自粛など法事等の勤め方に変更が加えられていました。現在、オミクロン株の拡散が懸念されませんが、法事については、令和四年より僧侶のマスクの着用は継続するものの、読経、お斎等の順慶寺からの自粛は求めないこととします。今後感染状況が落ち着き次第、順次令和二年以前の形に復帰させていただきます。



本年もよろしくお祈りします

### じゅんこのときめき歳時記

## しじみ

みなさん、お元気ですか。昨年は、コロナで沢山の人が故郷へ帰省できなかったため、今年こそは無事な正月になるといいですね。

正月には、お節料理やお雑煮をいただいで、こたつでござる。みかんを食べながらテレビで箱根マラソン。なんだか、みんなでゆったりムードになりますよね。

いつも、正月が過ぎると、ちよつとお腹が出て、胃もたれも出たりします。そんなとき、シジミのお汁がいいそうです。シジミは、カロリーが低い割にタンパク質が豊富らしく、肝臓や貧血に効果がある栄養素を含

んでいるとか。丁度一月は寒シジミの旬なときなのだそう。そういえば、お父さんは、風邪熱が出ると必ず「シジミは真熱をとるからいい」と言っていて、シジミのお汁を食べていました。

黒松と  
出る日一髪 蛸汁  
齋藤玄

